

# FURUTECH

## Review

### Audio Accessory ケーブル大全—2019 - JAPAN



#### FURUTECH The Odeon

電源ケーブル  
¥19,800(1.8m/税別)

●導体:銀コーティングa-OFC導体 ●絶縁体:オーディオグレードポリエチレン(赤、黄、緑) ●取り扱い:フルテック(株)

#### ●音質傾向表

音色	クール	ウォーム
音楽の表現力	繊細志向	迫力志向
音調のバランス	軽快	重厚
空間の表現性	音場重視	音像重視

#### 音場を自然に表現する バランスの良い製品

クラシックは繊細で弦の響きはどことなく幽玄な感じに広がる。音場はクールでいたずらに深く表現せず割合と自然な感じだ。ジャズは楽器が一步前へ出て、そこから遙か遠くまでエコーが広がっていくようなイメージを聴き取ることができた。ピアノそのものから発する直接音が壁や床に反射してエコーとなるさまが見えてくる表現だ。ポップスも楽器は前へ張り出し、それでも声の邪魔をしないのが好ましい。レンジがそう広いわけではないが、バランスの良さで好ましく聴かせるタイプだ。

#### 話題の電源ケーブル・スクランブルテスト



#### FURUTECH The Empire

電源ケーブル  
¥35,000(1.5m/税別)

●導体:PC-Triple C導体 ●構成:The Astoria=80本/0.18mm<sup>2</sup>×3極、The Empire=45本/0.32mm<sup>2</sup>×3極 ●絶縁体:特殊耐熱オーディオグレーPVC(青、茶、緑+黄インクライン) ●取り扱い:フルテック(株)

#### ●音質傾向表

音色	クール	ウォーム
音楽の表現力	繊細志向	迫力志向
音調のバランス	軽快	重厚
空間の表現性	音場重視	音像重視

#### ローエンドの質感が 大きく向上している

先に紹介の「オデオン」よりぐっとレンジが広がり、クラシックはローエンド方向の質感表現が劇的に向上した。太い芯線を用いると、時に高域が穏やかになることがあるが、このケーブルは上下のバランスが整っている。ジャズはピアノのタッチが一段とソフトになり、しかし音像の甘さを一切感じさせない。ホールエコーは奥行きよりも高さ方向に広がりが大きい。面白い表現だ。ポップスは音像がソリッドでよく伸び、井筒の声は緩急をよく表現。P C-Triple Cの音の楽しさが巧みなスパイスとなっている。

FURUTECH

## The Astoria

¥22,000／1.5m

電源ケーブル



効果の魅力 ★★★★★

福田屋銘品ランク ★★★★★

コストパフォーマンス ★★★★★

●取り扱い: 福田屋

フルテック

### SN比や解像度に優れて純度が高い

フルテックから、福田屋も納得の電源ケーブルが登場。導体にP C · T r i p l e C を採用したケーブルを新開発。このモデルは手頃な価格でS N比、解像度が高く、高域特性もよく伸びている。純度の高い音質表現が魅力だ。上級品にThe Empireもあり、違いはケーブル導体の太さと芯線構成のみで、一般にはこの方が有利と考えるが、個人的に使うならThe Astoriaの性能の方である。最近は細いケーブルの方が有利な例も多い。